



5月のほけんだより



令和6年5月号
第一ルンビニ園

心地よい風が吹く中、園庭にはチューリップや水仙の花が色鮮やかに咲き、子ども達の目を楽しませてくれています。

入園、進級をして1ヵ月が過ぎました。新しい環境にも少しずつ慣れてきた頃ですが、緊張もほぐれ少し疲れがでてくる頃でもあります。ゴールデンウィークはおでかけの予定もあると思いますが、お子様の体調に合わせた計画で、家族でゆっくりと楽しく過ごしましょう。

《 園児の健康状況 》

☆4月の初めは、発熱する子どもが多くみられ、たんぼぼ組(1歳児)でアデノウィルス感染症に1名が感染しました。以上児クラス(3・4・5歳児)では腹痛や嘔吐等の胃腸炎症状の子どもが数名でしたが、数日で回復しお腹の風邪と診断されています。その後の広がりもなく、園全体での病欠児童数も少なく、子ども達は元気に登園しています。今年は早い時期から急激な気温の上昇があったり、体がまだ暑さに慣れていないこともあり体調を崩しやすいようでした。衣服の調節や水分補給等も行い、子ども達の体調の変化に気をつけていきたいと思えます。

★ 4月の体調不良児室利用状況

発熱・・・18名 腹痛・・・2名 嘔吐・・・3名 下痢・・・1名
利用人数・・・24名

生活リズムをととのえる散歩

園・所での散歩には、体力づくりや基礎代謝の向上、体温調節などの役割があります。

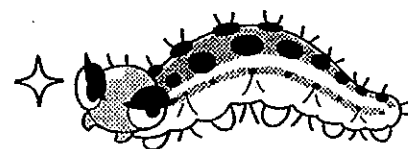
午前の散歩は、午前中の活動に集中できるようになり、午後の散歩は、心地よい疲れや空腹感を促して、夕食をたくさん食べることや、早寝につながるといわれています。また、さまざまな発見をしたり、生き物の名前や捕り方を覚えたり、交通ルールや人に迷惑をかけないような行動を身につける機会にもなります。



危険な植物や虫に注意

身近な場所にも、触るとかぶれてしまう植物や、刺されたりかまれたりすると危険なハチや毛虫、クモなどがいます。

どんな植物や虫が危険なのかを知っておくと、日頃から気をつけることができます。また、みだりに草むらに入らせないようにして、危険な植物や虫に触らせないようにしましょう。



公園では遊具からの転落に気をつけて

公園で遊ぶ時には、施設や遊具の対象年齢や遊具ごとの使い方を守らせます。特に6歳以下の子どもは、おとながつき添って目を離さないようにして、転落事故などを防ぎます。

服装は、ひもやフードのないものにして、かばんや水筒などの引っかかるものは、身につけさせないようにして遊ばせてください。

出典 こどもまんなか こども家庭庁「こどもを事故から守る！ 事故防止ハンドブック」

散歩の後はしっかり手洗い

散歩をすると、子どもたちはさまざまなものに触ります。そのため、散歩の後は石けんを使ってしっかりと手洗いを行っています。

ご家庭でも、帰宅後の手洗いを習慣づけるようよろしくお願いします。

